

4 企業会計

公営企業局

水道事業会計

水道事業収益の推移

(単位:千円)

項目	平成27年度 決算	平成28年度 決算	平成29年度 決算	平成30年度 当初予算	平成31年度 当初予算	前年度増減
水道事業収益						
給水収益	8,969,423	8,934,742	8,883,322	8,759,802	8,718,657	△ 41,145
分担金	315,526	403,735	303,282	241,818	243,737	1,919

水道事業会計

尼崎市の水道

通水開始時期	大正 7 年
市内配水能力	318,573m ³ /日
市内の配水管総延長	1,005 k m
給水戸数	244,600 戸
年間総配水量	54,298,000m ³
1 日平均配水量	148,355m ³
阪神水道企業団	
1 日平均受水量	128,331m ³

- (1) **次期水道・工業用水道ビジョン策定事業** 6,188
(28,016)
将来においても安定的に事業を継続していくため、より長期的な視野（40 年先の尼崎市の水需要）を見据えた中で、直近 10 年間に取組むべき方向性を定めた次期ビジョン（計画期間：平成 32～41 年度）を策定する。
・策定支援業務委託、公営企業審議会委員報酬等
- (2) **配水管整備事業** 1,307,557
(1,359,597)
「重要度」「老朽度」「耐震性」の 3 つの観点から更新の優先順位を定め、配水管の整備工事を行う。なお、更新にあたっては、耐震化するとともに将来的な水需要の減少を考慮した管口径の縮径を図るなど配水管網の再構築を見据えて取組む。また、平常時の水圧が比較的低い北西部地域を対象に、他の地域と分離して管理を行う「配水区域のブロック化」に取組み、災害時の断水の解消を進める。
・配水本管整備工事
管径 300～700 mm 延長 2,295.0m
※ 基幹管路耐震化率 見込み 50.0%（計画 49.1%）
・配水支管整備工事
管径 50～250 mm 延長 8,005.0m
・配水区域のブロック化
電動弁設置設計業務委託
- 
- 配水管布設工事
- (3) **漏水対策事業** 146,058
(146,690)
① 漏水調査業務
漏水の早期発見による二次災害（道路陥没事故など）の防止と有収率の維持を目的に漏水調査を実施する。
31 年度事業
・委託 対象エリア（武庫地区と立花・大庄地区の一部）
② 鉛製給水管公道部取替事業
漏水発生のリスク低減のため、漏水修繕件数の多くを占める鉛製給水管の取替を鉛製給水管公道部取替計画に基づき実施する。
31 年度事業
561 箇所
※ 解消目標年度 平成 40 年度（達成率 平成 31 年度見込み 約 51%）

- (4) **施設の再構築** 489,727
 老朽化した神崎浄水場ろ過池及び沈でん池の (1,084,445)
 (電気・機械) 設備の更新工事を行う。
 (30・31年度工事)



神崎浄水場 供用開始：大正7年

- (5) **応急給水拠点整備事業** 15,724
 拡充 地震発生初期3日間に対応できる応急給水拠点を市内全域半径1km圏内で設 (3,904)
 置するため、これまで整備してきた耐震性緊急貯水槽(7か所)と浄水場の
 配水池(3か所)に加えて、新たに災害時給水栓による応急給水拠点(20か
 所)を整備する。
 31年度事業
 応急給水拠点5か所
 ・災害時給水栓新設工事
 ・仮設給水栓購入

- (6) **上下水道お客さまセンター運営事業** 439,377
 お客さまの利便性の向上や事務処理の効率化を目的として平成 (160,711)
 31年1月に開設した上下水道お客さまセンターの運営を行うと
 ともに、委託業務に係るモニタリングを継続して行うことで、
 窓口対応の改善や業務の効率性を高め、お客さまサービスの向上
 を目指す。
 (平成30~35年度業務委託)
 債務負担行為(31年度提出分) 金額 32,248千円



上下水道お客さまセンター

- (7) **広報・広聴活動事業** 15,392
 お客さまとのコミュニケーションを重視し、市民のライフラインである水道 (27,378)
 をより身近に感じ、理解していただくための取組を行う。
 ・広報紙「ウォーターニュースあまがさき」の発行
 ・神崎浄水場イベント開催
 ・ホームページ運営及びパンフレット作成等

- (8) **阪神水道企業団等からの受水に要する経費** 4,052,181
 用水供給事業体である阪神水道企業団(神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、 (4,016,159)
 宝塚市)及び兵庫県からの受水等に係る経費

工業用水道事業会計
工業用水道事業収益の推移

(単位:千円)

項目	平成27年度 決算	平成28年度 決算	平成29年度 決算	平成30年度 当初予算	平成31年度 当初予算	前年度増減
工業用水道事業収益						
給水収益	1,324,127	1,320,653	1,313,788	※1,193,749	1,205,357	11,608
共同施設管理収益	309,996	320,922	321,494	351,037	333,456	△ 17,581

※ 平成30年度より、責任水量制から二部料金制に移行

工業用水道事業会計

尼崎市の工業用水道

給水開始時期	昭和 32 年
市内配水能力	170,000m ³ /日
市内の配水管総延長	62 k m
給水社数	52 社
年間総配水量	23,990,000m ³
1 日平均配水量	65,546m ³

- (1) **次期水道・工業用水道ビジョン策定事業** 6,188
(27,256)
将来においても安定的に事業を継続していくため、より長期的な視野（40 年先の尼崎市の水需要）を見据えた中で、直近 10 年間に取組むべき方向性を定めた次期ビジョン（計画期間：平成 32～41 年度）を策定する。
・策定支援業務委託、公営企業審議会委員報酬等
- (2) **配水管整備事業** 322,886
(154,198)
「重要度」「老朽度」「耐震性」の 3 つの観点から更新の優先順位を定め、配水管の整備工事等を行う。
・配水管整備工事
管径 1,000 mm 延長 335.0m
・配水管撤去工事
管径 500～700 mm 延長 881.0m
※ 管路耐震化率 見込み 63.8%（計画 63.6%）
- (3) **施設の再構築** 14,478
(0)
新規 工業用水を市内ユーザー企業に対して安定的に給水するとともに西宮市及び伊丹市への安定した供給を継続するため、老朽化した園田配水場集中監視制御設備更新工事を行う。
31 年度事業
設計業務委託
- (4) **工業用水道料金徴収業務委託関係事業** 551
(841)
工業用水道の計量及び料金収納業務などの委託を行う。
(平成 30～35 年度業務委託)
債務負担行為（31 年度提出分）金額 41 千円



園田配水場 供用開始：昭和 42 年